

被災市町村情報

福島県 浪江町

1 市町村の状況等

項目	内容
概要	 <p>浪江町は、福島県の最東端に位置しており、東は太平洋、西は阿武隈山系の稜線まで延びています。面積は223.14k㎡で双葉郡総面積の4分の1を占めています。震災前の人口は、約2万1千人、主な産業は、農業、水産業です。平成29年3月に一部の避難指示が解除され、役場本体機能を29年4月より町内に移し、町の再生と避難住民の支援等に当たっています。</p>
復興状況	<p>本町は、平成29年3月に一部区域を除いて避難指示が解除され3年が経過したものの、震災前の8%の1,700人ほどが帰町しているに過ぎず、復興まではまだまだ長い道のりです。町民の帰町を促すために社会インフラも含めて整備を進めながら、雇用の確保、移住定住にも力を入れておりますが、職員の数も不足している状況です。</p>
ホームページアドレス	<p>http://www.town.namie.fukushima.jp/</p>
交通	 <p>◆ JR常磐線 東京駅からいわき駅まで、特急ひたちで約2時間23分、いわき駅から車で約1時間（63.6km） ※現在JR常磐線は浪江駅まで未復旧 ◆ 常磐自動車道 浪江I.Cから浪江町役場まで、車で約10分（約5km）</p>
放射線情報	<p>0.06μSv/h（令和3年4月1日現在、浪江町役場本庁舎内） 勤務先である浪江町内の本庁舎周辺の空間放射線量は震災前と同水準です。 なお、福島県内の放射線情報については、原子力規制委員会のWebページをご覧ください。（http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/index.html）</p>

2 勤務条件等

項 目	内 容
勤 務 時 間	8時30分～17時15分（休憩時間：12時00分～13時00分）
休 日	土曜日、日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日
時 間 外 勤 務	業務の進捗状況により、無理のない範囲でお願いする場合があります。
年 次 有 給 休 暇	<p>暦年に20日付与、繰越20日限度。</p> <p>年の途中で派遣された場合は、20日に前年からの繰越日数を加えて得た日数から、浪江町職員に併任された日の前日までに使用した年次休暇の日数を減じた日数となります。</p>
そ の 他 の 休 暇	特別休暇等のその他の休暇については、浪江町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び規則に定めるものとします。
被 服	作業服等については、浪江町の規定に基づき貸与します。
宿 舎	原則として、町が借上げた南相馬市内の民間住宅をご利用いただきます。ほとんどが家具付賃貸住宅を予定しています。入居料は無償ですが、光熱水費については、個人負担となります。
備 品	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンは備え付けられています。
駐 車 場	駐車場が付いておりますので、自家用車を所有されている場合は、お持ちいただいた方が便利です。
通 勤 手 段	自家用車、公共交通機関をご利用いただくことになります。
通 勤 時 間	車で30分、電車（駅までの徒歩時間も含む。）で1時間程
立 地 条 件	当町隣の南相馬市内の、主要幹線の国道6号から東へ程近いところにあり、周辺1km圏にショッピングセンターがあります。JR常磐線原ノ町駅まで徒歩30分程

3 インフラ等

項 目	内 容
商 業 施 設	スーパー、コンビニ、道の駅、飲食店など、日常的な買物環境は徐々に回復しています
医 療 機 関	町営診療所、民間の歯科医院が1件ずつ
子 育 て に 係 る 施 設	町営認定こども園
水・電気・ガス	避難指示解除区域内（沿岸部の災害危険区域指定地域を除く）では問題なく使用できます

4 その他（コメント等）

原子力災害の影響により、10年が経過しましたが、未だに困難な課題が山積しております。
そういった中でも、水素を核としたゼロカーボンシティ、先端技術をもっての大規模牧場、といった先進的な取組みも始まり、多くの企業の注目を集める側面もございます。
どこの地域よりも元気な道の駅など、これからも多くの魅力を構築し、持続可能なまちづくりを目指しています。浪江町の歴史の1ページを一緒に創っていただける方、お待ちしております。

5 担当者連絡先

所属部課名	総務課
電話番号	0240-34-2111
FAX番号	0240-35-5352
メールアドレス	namie110@town.namie.lg.jp